

在南ア日本大使館
領事がつづる

南アフリカ通信

Vol. 30

文◎新保 剛



2010年のワールドカップ開幕まで、あと121日。
開催国の南アのことをよく知らない人も多いだろう。
現地在住の日本大使館領事から届くこのコラムで
生の南アフリカを見て、知って、本大会に備えよう！

ワールドカップの日程上、日本代表が試合をしない、もう一つの都市ポロクワネを紹介しよう。「南アのパンかご」と言われるリンボボ州の州都。市役所のHPによれば、小麦、野菜、果物の産地の中心地だ。また、レアメタルなどの鉱山が周囲に広がっている。市内は観光地ではないが、その周囲は面白い。まず、北東方向に車で1時間ほどのところに、バオバブの巨木が生える一帯がある。これは面白い形の木で、枝振りが地中に張る根を連想させるため、アップサイドダウンツリー（逆さまの木）とも呼ばれる。目立つので幹線道路からも見ることができ、地元自治体が整備した公園にも生えている。前回紹介したクルーガー国立公園は、北にも入口があり、ポロクワネから車で3時間の距離。早い時間に出発すれば日帰りでサファリツアーを楽しむことができる。



●「南アのパンかごで、バオバブの木を見よう」●



▲ピーター・モカバ・スタジアムの内部。会場周囲の四隅の柱がバオバブの木の形をしている



▲スタジアムの周囲にバオバブの木が植えられた一角が。木を逆さまに植えたような独特の形

生動物を囲い込んだゲームリザーブがあり、都会に住む南ア人が週末に息抜きに来る場所だ。ポロクワネから北に車で2時間走るとジンバブエとの国境に至る。極度の経済不振に陥っているジンバブエと、経済好調な南アを結ぶ道路は、国境を境に一変する。アフリカの厳しい現実を見ることができるところだ。

試合会場はピーター・モカバ・スタジアム。バオバブの巨木をイメージして設計され、この1月に完成したばかり。ポロクワネ市内のホテルは少ないので、団体観戦客の多くはヨハネスブルグかプレトリアから足を延ばすことになる。ポロクワネは南回帰線上にある。日本で言えば石垣島あたりで、W杯の時期でも日差しが強いので日焼け対策が必要だ。しかし、標高1280メートルのため、日差しほどには暑くならない。また夜に冷え込むこともあるので、観戦にはコートを持参しよう。

著者プロフィール◎一等書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップに向け、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp> 在南アフリカ日本国大使館 http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html